

ボランティア活動とは、より豊かな地域社会を築くために、自らすすんで、他の人や社会のために、金銭の見返りを求めないで行う活動を意味します。「ボランティア」の語源は、意志や善意という意味をもつ、ラテン語の『VOLUNTAS(ボランタス)』だと言われています。

『ボランティア活動の4原則』

- ①【自主性・主体性】ボランティア活動は、自分自身で考え、意思をもって始める活動で、誰かから強制・義務として行わせる活動ではありません。どんなきっかけでも、自分自身で「やってみよう」の気持ちが必要です。
- ②【社会性・連帯性】社会にはさまざまな課題が存在します。こうした課題を発見し、改善していくためにはひとりひとりが考えることと、多くの人と協力しながら力を合わせて行動することが大切です。
- ③【無償性・無給性】ボランティア活動は、活動目的の達成によって、出会いや発見、感動、喜びといった精神的な報酬を得る活動です。個人的な利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。(交通費や食費、材料費などの実費弁償についてはもちろん無償の範囲です。)
- ④【創造性・開拓性・先駆性】世の中には社会課題がたくさんありますが、ボランティア活動では目の前の具体的な課題に対して何が必要なのか、どう改善するかという具体策が必要になります。ボランティア活動では、従来の考え方にとらわれることなく、自由な発想やアイデアを大切にしながら、協力先の方々と方法や仕組みを考え、創り出していくことが大切です。

『地域とボランティア』

地域での助け合い活動については、以前どこの地域でも隣近所の結びつきが強く、困ったときには助け合うのが当たり前でした。現在は様々な要因でそういった習慣はずいぶん少なくなりましたが、たとえば、お年寄りの家に顔をだし、困ったことを手伝ったり話し相手になったりするだけでも十分なボランティア活動です。また、子育てについても親だけの責任を問われることも多くなりました。子供を育てる親にとっては多くの住民が子供の顔を覚えて学校の行き帰りを見守ってくれたり、町内で遊ぶときに声をかけてくれたりするとずいぶん安心です。町内会等で行う防災訓練や、防犯パトロールへの参加、町内の公園や川などの掃除などもボランティア活動の一環です。

『中学生のボランティアについて』

コロナ禍で、自粛されていた地域のお祭りや様々な活動が再開され、地域ボランティア活動の機会が増えてきました。中学生に期待する地域の声が多い中、多くの生徒が自主的にボランティアとして参加する予定です。また、吹奏楽部への公演依頼もあり演奏での地域貢献も予定されています。

石神井西中学校の生徒へ防災訓練などの「地域の一員として参加」を期待する声も多くあります。最初の一步を踏み出すことが難しいと思っている生徒も多いのが現状ですが、「地域の一員である」意識は大切であり、学校としても生徒の皆さんへの後押しをしていきたいと考えております。中学生は、大人が思っている以上に多忙な日々を過ごしているため、ご家庭の理解も重要です。お子様と地域や社会貢献について、中学生のボランティア参加について考える機会をもっていただけると幸いです。